

## 自画自賛と野党攻撃に終始した公明・山口代表 共産党躍進への敵意むき出し

6月12日、公明党の山口代表が広島市内で行った演説を紹介します。

山口代表は、アベノミクス、安保法（戦争法）などを自画自賛、挙句の果ては「オバマ大統領を広島に呼んだのは公明党の尽力だ」とまで・・・そして共産党と野党共闘に対して以下のような攻撃をしました。

### 「共産党に負けない。第3党の地位を守れ」・・・共産党の躍進への敵意むき出し

(まず挨拶にたった斉藤鉄夫衆院議員・広島県本部代表から・・・)

選対本部としていま調査した結果、いま共産党が民共、民進党と共産党、一緒にたたかうというなかで、大変なマスコミの注目を浴びて伸びてきておまして、私たち、みなさまのおかげで築き上げてきていただいた第3党の地位が危ない。800万票を共産党はめざしているそうです。どうか、どうかみなさん、谷合正明、全国の比例区、1票1票、票を積み上げていただいて、第3党、そして共産党になんか絶対に負けない。何として第3党の地位を守りたい。どうかよろしくお願いいたします。

※日本共産党の得票目標は「850万以上」です。

### 「混乱が明らかな民共統一許すな」・・・「市民＋野党共闘」への言いがかり

(山口代表)

今回、民共と対決と言われております。しかし、この選挙のときだけ、平和安全法制を廃止せよ、戦争法は廃止せよ、それだけ一致されても、国民のみなさまは困るでしょう。その先、どうなるんですか？ どういう安全保障をすすめるんですか？ 共産党と民進党はまるで違うんじゃないですか。消費税どうするんですか？ 3党合意をすすめた民進党、かつての民主党。そして、廃止しろといまだに言っている共産党。選挙が終わった後からたちまちバラバラではありませんか。こういう人たちにこれからの政治を任せていたら、混乱は目に見えております。それを考えれば、安定の下で政策を力強く推進する自公政権か、それとも混乱が明らかな民共統一か。その結果ははっきりしている。

※5中総報告から・・・

野党は、「安保法制廃止、立憲主義を取り戻す」という大義のもとに結束しています。「立憲主義を取り戻す」という仕事は、あれこれの政策とは次元が異なる、国の土台を再建する仕事であります。まともな民主政治の土台、まともな政策論争を行う土台を回復しようというものであります。それは、政策の違いを横に置いても追求すべき、国民的大義がある仕事であることは、明瞭ではありませんか。

以上